

# 脳の不思議に迫る

8月7日(金) 参加無料!



## 対象

高校生の方 先着60名

- 定員に空きのある場合のみ当日参加可能です。
- 参加者はご都合により、講演会のみ、講演会+研究室見学1のみでも参加可能です。
- 当日は、会場にてスチールカメラ、ビデオカメラ等による撮影が行われ、ウェブ上などで使用される場合があります。あらかじめご了承の上、ご応募くださいますようお願いいたします。

## 日程

- |             |   |
|-------------|---|
| 12:30~13:00 | 受付 (大河内ホールロビー)  |
| 13:00~13:05 | 開会の挨拶<br>伊藤 正男<br>脳科学総合研究センター特別顧問   |
| 13:10~13:50 | 講演「脳内の情報伝達のしくみは? -シナプス機構に挑戦-」<br>シナプス可塑性・回路制御研究チーム<br>合田 裕紀子 チームリーダー      |
| 14:10~14:40 | 研究室見学① 訪問ラボは原則として選んで頂くことはできませんが、英語レクチャーの研究室が一つありますのでこちらは希望者優先といたします。なお、この |
| 15:00~15:30 | 研究室見学② 場合であってもご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。                                   |

## 場所

理化学研究所 大河内記念ホール (埼玉県和光市広沢2-1)

## 講演

### 脳内の情報伝達のしくみは? -シナプス機構に挑戦-



シナプス可塑性・回路制御研究チーム 合田 裕紀子チームリーダー

シナプスは、ニューロン同士が接触する特殊な部位で、シナプスの働きは、記憶、計算など、脳のあらゆる機能を支えています。ちなみに、米粒ほどのサイズのヒトの脳組織には、10億あまりのシナプスがぎっしりと詰まっています。一個一個のシナプスがどのようなしくみで、脳内の情報伝達を担っているのでしょうか。シナプス伝達の不具合は、自閉症やアルツハイマー病などの要因にも関わっています。本講演では、脳内のコミュニケーションのバランスが、どのようなシナプス機構により保たれているのか、最新の研究の一端をご覧にいたします。